



いばらきつ子郷土検定県大会で見事優勝！

2月1日、ザ・ヒロサワシティ会館（水戸市）において「第7回いばらきつ子郷土検定県大会」が開催され、激戦を勝ち抜いて、美浦中学校代表チームが優勝しました。

大会は中学2年生を対象とし、チーム5名で県内各市町村代表及び、国・県・私立代表1チームの45チームにより1回戦、準決勝、決勝が行われました。会場には各学校の応援団が陣取って熱い声援を送る等、大いに盛り上がる中、美浦中学校は1回戦を全問正解で勝ち抜き順調な駆け出しに。しかし、準決勝は勝ち上がるまであと1問となりながらも追いつかれ、苦しい展開となる中で最後に正解し粘る他校を振り切って決勝へ進出。決勝では他校に先に正解され先行を許すも、粘って最後は2問連続で正解し、逆転で見事に優勝しました。この度はおめでとうございます。

むらの話題

地域的话题を
お待ちしております
■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205



美浦村食生活改善推進員養成講座が終了



1月15日、保健センターにて美浦村食生活改善推進員養成講座の修了式が行われ、11名の受講者が修了証書を受け取りました。

養成講座は昨年8月から8回に渡って開催され、受講者は座学や調理実習をとおして健康と食生活について学びました。

今後は美浦村食生活改善推進員協議会に所属し、村民の健康の為に啓発活動等で活躍していきます。

賀詞交歓会で新年の語らい



1月16日、美浦ゴルフ倶楽部において「令和2年美浦村新春賀詞交歓会」が開催されました。晴天に恵まれ穏やかな気候の中、約120名が気持ち新たな面持ちで出席されました。

新年のあいさつには、中島村長や美浦村ふるさと大使の棚橋幸代さんが美浦村の更なる発展を祈念し、歓談の場では、出席者の晴れやかな表情が垣間見え、素晴らしい新年の幕開けとなりました。

スキー教室を開催しました



2月1日～2日、福島県たかつえスキー場において、村体育協会スキー部主管による「ジュニアスキー教室」が開催され、村内小学3～6年生44名が参加しました。

雪不足が心配されていましたが、スキーを楽しむには問題なく、2日間を通じて良い天候の中での講習となりました。

はじめは立っているのがやっとだった参加者も講習を通じて上達し、最後はリフトに乗って自由に滑走を楽しんでいました。

この機会を通してウィンタースポーツに興味を持っていただけると良いですね。

令和元年度美浦村防災訓練を実施しました

2月1日、美浦中学校において「令和元年度美浦村防災訓練」が行われました。

美浦村に震度6弱の地震が発生したと想定し、災害対策本部を設置、防災行政無線の放送で参加住民の方への避難や避難所開設を呼びかけました。

体育館では参加者全員で段ボールを組み立ててベッドを作り、寝心地を確かめている方も見受けられました。また各ブースにおいて災害に役立つ情報や、M I H O Wi-Fiの接続確認、防災メールの登録推進、簡易トイレの展示等が行われていました。

屋外では降雨体験車やはしご車の乗降体験と、実際にいなほ消防署による人命救助訓練が実施され、参加者が見守る中、一刻を争う緊迫感があり、改めて災害に対する意識を見直す良い機会となりました。



白熱の試合！美浦かるた大会



低学年の部

優勝 大谷小3年 沼崎 知優さん
準優勝 大谷小2年 今泉 七海さん
第3位 木原小2年 荒木 葵さん
 大谷小2年 鈴木 理子さん



高学年の部

優勝 大谷小5年 山崎 大輔さん
準優勝 大谷小4年 門田 集さん
第3位 大谷小6年 出戸 俊華さん
 大谷小4年 水島 蓮さん

2月2日、美浦村中央公民館において、村内小学生を対象とした美浦かるた大会が、青少年育成美浦村民会議の主催により開催されました。

大会には美浦村女性行政推進協議会が村の歴史や文化などをまとめた「美浦かるた」を使用し、当日参加した総勢22名の児童による白熱した試合が繰り広げられました。入賞した皆さん、おめでとうございます。

美浦中が高校生と合同授業



1月14日から24日にかけて、美浦中学校に江戸崎総合高校のメカニカルテクノ科の生徒が訪問し特別授業が行われました。

両校の連携は2年前より実施されており、各班に分かれ高校生からエンジンの仕組みの説明を受け、組み立て・分解等を合同で行いました。普段ふれる事のないエンジンの組み立てを体験した美浦中の生徒と、実際に技術を指導し教える事の難しさを感じた高校生でしたが、お互いがコミュニケーションを取り合って作業に取り組む姿は、両校の良い交流を築いているようでした。

霞ヶ浦湖畔ウォーキング



2月15日、「第8回霞ヶ浦湖畔ウォーキング」が開催され、53名の方が村文化財センターを起点とした霞ヶ浦湖畔を巡る約10kmのコースにチャレンジしました。筑波山を望む湖岸や陸平貝塚など、素晴らしい美浦村の自然を満喫していただく、村外の方も参加いただいていた開催です。

暖かな日差しの中を、風光明媚な景色を楽しむ方、短時間でのゴールを目指す方、参加された皆さんは思い思いのペースで歩き、無事全員が完歩しました。



おめでとう 美浦所属馬 J・G I 制覇



第142回 中山大障害 シングンマイケル号



高市圭二 調教師



佐藤佑輔 調教助手



金子光希 騎手

令和元年12月21日、中山競馬場(4100m・芝コース)で行われた第142回中山大障害において、美浦トレーニング・センター高市圭二厩舎所属のシングンマイケル号が優勝しました。

重賞を2連勝で勝ち上がってきて望んだ今回のレース。序盤は先頭集団を見守るかのようの中団でレースを進める。障害物を華麗に飛越しつつ、徐々に進出を開始。ライバル達をどんどん抜き去り、最終コーナー手前で先頭に立つと、粘るライバル達を振り切り先頭でゴール。見事優勝しJ・G I 制覇という大きな悲願を達成しました。

シングンマイケル号の厩務を担当する佐藤佑輔調教助手は、「普段は人なつっこく、とても扱いやすい馬です。いつも元気で走りたくてしょうがないといった感じです。競馬場に到着した時はいつも通り落ち着いていました。パドックではいつもの事ではありますが、早く走りたい感じでチャカついていました。勝った瞬間、嬉しいのは当然ですが、まずはホッとしたというのが率直な気持ちです。また、いろいろな思いもあり、こみ上げてくるものがありました。」とのことでした。また今後の予定を尋ねると、「次のレースに向け調教中です。ぜひレースを見てください。」と力強く語ってくれました。

大舞台でその能力を開花させたシングンマイケル号の今後のますますの飛躍が楽しみです。

中山競馬場で 美浦ステークス を観戦しませんか？

今年も「美浦ステークス」が中山競馬場(千葉県船橋市)で開催されます。この「美浦」を冠した年に1度のレース開催にあたり、中山競馬場に15組30名の方をご招待します。みなさんふるってご応募ください。

レース開催日 4月12日(日) 中山競馬場 第10レース

行き：役場発午前8時30分、帰り：中山競馬場発午後4時30分を予定

※役場から中山競馬場へ送迎します。詳細は当選者への返信ハガキでお知らせします。

- ◇応募資格 村内にお住まいの20歳以上の方
※ご同伴の方も村内にお住まいの方に限りませんが、年齢要件はありません。
- ◇定員 15組30名(定員を超えた場合は、昨年参加されていない方を優先のうえ抽選)
- ◇応募方法 往復ハガキに以下の必要事項を記入し、ご応募ください。
※お一人様につき1回のご応募のみ有効です。
- ・往信表面 〒300-0492 美浦村大字受領1515 美浦村役場企画財政課「美浦ステークス」観戦係
- ・往信裏面 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号(当日連絡の取れる番号)、同伴者の氏名・住所・年齢
- ・返信表面 応募者の郵便番号、住所、氏名 ・返信裏面 何も書かないでください。
- ◇応募締切 3月23日(月) 必着
- ◇問合せ 役場企画財政課 ☎029-885-0340 ※当落に関するお問合せには応じられません。